

2026年6月23日

各位

会社名 アクシスITパートナーズ株式会社  
(コード番号 351A TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役 坂本 哲  
問合せ先 取締役執行役員 中原 貴之  
TEL 0857-50-375  
URL <https://www.t-axis.co.jp/>

### TOKYO PRO Market への上場目的の開示について

当社は、株式会社東京証券取引所（以下、「東証」といいます。）より2026年4月3日付で公表されました「TOKYO PRO Market への上場目的の開示のお願い」の趣旨に賛同し、当社のTOKYO PRO Market（以下、「TPM」といいます。）への上場目的及びその達成状況等について、下記のとおり開示いたします。

#### 記

##### 1. TPM への上場目的

当社は、「情熱で未来を変える！！」というミッションのもと、システム開発からインフラ構築、アウトソーシングまでワンストップで企業や行政の経営変革を支援するとともに、社会インフラに関わる社会課題をITで解決するプラットフォームサービスを展開しております。当社が2025年4月にTPMへ上場した主な目的は、以下の3点であります。

##### (1) 知名度・信用力向上の効果を活かし、優秀なIT人材の確保と事業規模の拡大

当社は山陰地方で初となるIT企業の上場を果たしました。IT企業が首都圏に偏重する現状に対し、当社は「地方と首都圏のフラット化」を掲げ、ビジネス機会、報酬、働き方のすべてにおいて格差のない社会の実現（地方創生）を目指しております。TPM上場による「上場会社」としての社会的信用力と知名度の向上を最大限に活かし、地方における優秀なIT人材の採用・定着を強化するとともに、地方および首都圏双方における顧客基盤の更なる拡大を推進してまいります。

## **(2) 将来的な一般市場へのステップアップ上場に向けた、段階的な社内体制の整備**

当社は、中長期的な経営目標として、一般市場（東京証券取引所スタンダード市場等）への上場（以下、「ステップアップ上場」といいます。）を視野に入れております。TPM上場を、その実現に向けたコーポレート・ガバナンス体制、内部統制体制、および適時開示体制を段階的に整備・運用するための「実践の場」として活用し、上場企業に求められる高い規律を社内に定着させ、一般市場に相応しい強固な企業体質の構築を進めてまいります。

## **(3) 「売上100億円企業（以下、「100億円企業」といいます。）」の実現に向けた、M&Aや資本業務提携の探索**

当社は「上場の先へ、100億円企業を目指す」という成長戦略を掲げております。この実現に向けた自社主導の成長（オーガニック成長）に加え、当社事業（システム開発、インフラ構築、プラットフォームサービス等）との親和性が高い事業会社や地方のIT企業を対象とした、M&Aおよび資本業務提携を検討してまいります。

## **2. TPM活用のための取組事項**

### **(1) 知名度・信用力向上の効果を活かした、優秀なIT人材の確保と事業規模の拡大**

「地方と首都圏のフラット化」を推進するため、知名度・信用力を活かして優秀な人材を確保し、従業員定着率や人員体制の純増を図り、事業規模を拡大してまいります。

### **(2) 将来的な一般市場へのステップアップ上場に向けた、段階的な社内体制の整備**

中長期的な経営目標として、目標時期は未定ですが、一般市場への上場（以下、「ステップアップ上場」といいます。）を視野に入れております。事業規模、収益力、内部管理体制及び株式流動性等を総合的に勘案し、上場基準を満たした適切なタイミングでの市場選択及び移行を検討してまいります。

### **(3) 「売上100億円企業（以下、「100億円企業」といいます。）」の実現に向けた、M&Aや資本業務提携の探索**

中長期的な成長（100億円企業）に向け、予算達成度を高めることのほか、M&A・資本提携の相手となるパートナー企業との交渉に積極的に取り組んでまいります。

## **3. 今後の見通し**

当社は、上記の各目的の実現に向け、経営諸施策を着実に実行してまいります。TPM市場の機能を最大限に活用し、コンプライアンスの徹底とガバナンスの高度化を図りながら、株主の皆様をはじめとするすべてのステークホルダーの期待に応え、持続的な企業価値の向上と「地方創生」への貢献を果たしてまいります。

以上